

式根島アクアスロン

杉本

2007.6.23

3日前の天気予報は雨だった。しかし見事に外れどうやら雨は避けられそうだ。式根島アクアスロンは4回目である。何といっても透き通った海に魅せられ来てしまう。式根島との出会いは40年以上前に遡る。当時の真っ白な海辺の記憶のまま、今も自然のまま何も変わっていない様な気がする。何処に行っても変わり果てた景色、姿に戸惑うこの頃において、なんとも気が休まる。時々薄日が差し込むまでに回復した空の中、開会式(コース、ルールは昨年と同じです済んでしまう?のが面白い?)そして淡々と試合は開始された。湾内は静かでも外は波がかなりうねっている。気弱になる自分に言い聞かせ、うねる波に身をまかせ?何とか海藻や海底の景色を楽しめる気持ちを取り戻したものの、とてもマイペースの泳ぎには最後までならないままだった(1人おぼれ、ヘリで病院に運ばれたらしい)。ランは殆んど平らな所が無いタフなコースである。昨年はゴール約2km手前で右脹脛の肉離れ、ゆっくり歩いての帰還でした(筋力トレーニングをするぞ・・・でもしない)。今年はそれだけは避けないと・・・はたして58分(10km)の安全運転でした。大島、新島、ここ式根島も露天風呂の温泉があるのが良い。ゴール後そのまま温泉に直行。ビールを片手に談議が弾む。東京アイランドシリーズは試合が土曜日に設定されており、その夜が表彰式兼パーティーで何となく落ち着ける。昨年より「質」の低下を感じたがそれでもまずまずでしょう。そして次の日(日曜日)1日丸々楽しめるのが良い。朝7時、朝飯前の散策から始まった。神引展望台からの眺めははずせない。カンビキ湾コバルトブルーと白色の海底、中の浦、大浦の切り立った海岸線、さして高くはないが南国らしい原生林、遠くは新島、神津島・・・が望める。今回は中の浦で泳ぐ事にした。サンゴ礁は多くはないが、いろいろな色をした熱帯魚が濃い。シュノーケルは必需品、別世界に迷い込んでしまう。凪ぎった湾は200mはあろうか、ゆっくり、そして思い切って泳いだり自由自在だ。こんなに泳ぎが上手かったんだっけえー。こんなに気持ちよく泳げるのはここ式根島に外無いと思った。午後そろそろ帰りの船に向かう時間になって雨が落ちてきた。東京竹芝桟橋は雨だった。つづく(でもつづかない・・・)



泊海水浴場

足付温泉

神引展望台からの眺め